

クオリティーミニガイド

△石造物いろいろ(6)

石塔(3)
層塔は、奈良時代から造られ、江戸時代になると庭園の装飾としても建てられるようになった。仏教の無限永遠の功德を表すものとして、五・七・九・十三など奇数層となっている。

宝塔(多宝塔)は、祭祀

の永遠の功德を表すものとして、五・七・九・十三など奇数層となっている。仏教の無限永遠の功德を表すものとして、五・七・九・十三など奇数層となっている。

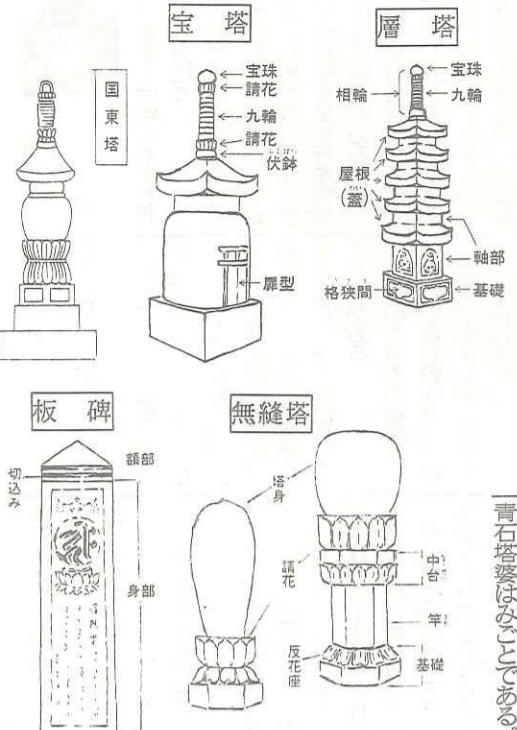
無縫塔(卵塔)は、その名のとおり塔部に縫目がなく、あるいは卵を立てた形の塔であり、主として

青石塔婆はみごとである。
僧侶の墓塔として建てられたもので、鎌倉の古寺を歩く歴代住職の墓塔として多く見られる。

板碑は、五輪塔の変形とする説もあり、石塔婆とも呼ばれるので、石塔として呼ぶものもある。

がなく、あるいは卵を立てた形の塔であり、主として

青石塔婆はみごとである。



「大学と文化のつどい」
京都で 今春も開催
「大学のまち京都」推進
協議会(信楽嵯峨会長・龍谷大学学長)は、京都市と十七の私立大学が共同して引き続き、全国の高校生を対象に「大学と文化のつどい」を開催。高校生の京都私立大学への誘致を推進する。

△内容 3月28日(火)13時30分京都駅八条口集合、京都観世会館(左京区岡崎)で講演・狂言、京都会館で大学との交流の後、市内に宿泊。

△対象 1年生、全国公募100名。

△開催 年生、全国公募100名。

△開催 年生、全国公募100名。